

5月30日

チャレンジデー2007

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されているチャレンジデー。多くの市民が軽スポーツなどを行いました。

吉田町の田井小学校では、グラウンドゴルフが行われ、地区住民47人が夜の校庭に集まって心地よい汗を流しました。

なお、雲南市は対戦相手の富山県砺波市に僅差で敗れる結果となりましたが、

「チャレンジデーメダル授与基準」により見事メダルを獲得しました。



	雲南市	砺波市
参加者数	24,514人	27,002人
参加率	53.7%	54.5%

5月21~28日

神代神楽ドイツ公演

大東町神楽連絡協議会の会員で結成された出雲神楽・民謡安来節ドイツ公演実施プロジェクト2007（恩田正憲会長）が、安来市の安来節保存会とともにドイツを訪問し、伝統芸能である神代神楽の公演を行いました。



これはフランス在住の日本人、石橋久美さんの尽力と、在デュッセルドルフ日本国領事館や島根県人会等の協力により実現したものです。

今回の公演に参加したのは11人。23日にゾーリンゲン市、25日にジークブルグ市、26日にはデュッセルドルフ市と、3市で「大蛇退治」などの演目を上演しました。3会場の観客動員数は750人の大盛況で、勇壮で神秘的な神楽舞に感動の拍手が会場一杯に鳴り響きました。

恩田会長は、「ドイツの方々に神楽が受け入れられていることを肌で感じる事ができ、とても感動した。雲南市のPRにも繋がったと思う」と感想を話されました。

6月5日

古代米を植えました

刀屋小学校の児童が学校近くの水田に古代米の苗を植えました。松本古墳を考える会（山根殷福会長）が、放課後子ども教室として、5年生を対象に行いました。同会は、事前に小学校に出向き、子どもたちに、稲の成育や農業の難しさについての講座も行いました。いざ、田植え作業を始めようとすると、多くの児童が「ヒルが怖い」と田んぼに入るのをためらっていました。一度作業に取り掛かると、次々に「苗をください」と叫んでは、田んぼに投げ入れられる苗を受け取って、あっという間に植えてしまっていました。



秋の稲刈りと収穫祭が今から楽しみです。



6月6日

豊かな自然との共生 どんぐりの森づくり

尾原ダム建設現場の森づくり活動の一環となる「植樹祭」が行われ、小学生らが工事現場の緑の復元活動に取り組みました。

この現場では、ダム建設用の道路工事などのために切り崩された山の斜面に「どんぐりの森づくり」と称し、毎年どんぐりの苗木を植樹しています。

斐伊川上・下流域の14校から集まった小学生ら約280人は、NPO法人斐伊川クラブの山谷武理事長から竹ポットに入った苗の植え方を教わり、切り立った斜面に次々と植樹していき



ました。子ども達は、「ちょっと、深く掘りすぎたかな?」「もう少し水をかけたほうがいいよ」と、苗の様子を気遣いながら、一生懸命作業していました。

6月9日

山王寺棚田 田んぼの学校開校

日本の棚田百選に認定されている大東町山王寺の棚田で田んぼの学校が開校し、市内外から参加した23組の親子連れが、ばば引きや手植えを体験しました。

田んぼの学校は、農作業を通して自然を体感し、豊かな農村景観を守り育てる活動として、水士里ネット島根と地元山王寺本郷棚田実行委員会が行っています。友人に誘われて参加したという出



雲市の女性は、「とても楽しかった。朝の雲海もすばらしかったし、棚田を満喫した」と満足そうに話していました。

田んぼの学校は、夏の自然調べや秋の稲刈り、収穫祭へと続きます。



6月8~10日

日本女子ソフトボールリーグ

日本女子ソフトボールリーグ2部第3節島根大会が行われ、木次運動公園野球場と加茂中央公園野球場を会場に、日本トップレベルの熱戦が展開されました。

同大会には雲南市から三洋電機チームも出場。地元の声援を受けながら3勝1敗の好成績で3節を終えました。

